

讃寿乾杯

秋中二〇四の会

秋中二〇四の会が、九月一日、秋田キャッスルホテルで二十三名の参加を得て開催された。

高松芳晴君の司会で、去る七月、同窓会の会長代行に就任した山谷浩二君の挨拶で開会。開宴後、岩手県遠野市か



ら初参加の久保木高君、元県議会議長の北林照助君のスピーチ。幹事の野手準二君からの、同期生二百五十人中すでに百二十人が鬼籍にとの報告に、傘寿を迎えた一同の感懐

もひとしおであった。

二〇四の会は、昭和二十年四年卒の意であるが、入学は十六年、我々の在学期間は、まるまる太平洋戦争ということになる。その間、群馬県大田の中島飛行機工場への動員や少年志願兵としての軍隊生活など、「戦時」を抜きにし

放送部創立56年 6年振りOB会

六年振りの放送部OB会が、九月二十七日(土)秋田駅前「レストランニューたけや」で、会員十五名が参加して行われた。まず、会員である吉村和就氏(昭和四十二卒)から水問題についての講演をしてもらった。この後総会が行



て学校生活は語れない。従って宴席での会話も戦争談義が多い。あとは年齢のせい健康。

しかし、宴の進むにつれて意気ますます軒昂。談論、美声、蛮声風発。和気藹々の中に讃寿に乾杯し、再会を約して散会した。(宮越郷平 記)

われ、大坂谷邦雄会長(昭和三十六卒)の挨拶の後、事業・決算・会計監査報告・役員全員留任などが承認された。懇親会は、物故会員の黙祷から始まった。赤沼有さん(昭和二十九卒)の乾杯で懇談となった。プロジェクトで、過去の役員会や五十周年記念祝賀会・戸賀のキャンプ写真などを見ながら懇談した。全員に近況報告をしてもらい、懇親を深めた。最後に、昭和最後の卒業生兄弟が、校歌斉唱と万歳三唱をして、二年後の再会を期し散会した。(代表幹事 高橋 伸)

話は尽きず

紫水会 (水泳部OB会)

平成二十年六月十八日、秋田市のニューたけやで紫水会(水泳部OB会)の総会と懇

平成20年度・3Gクラス会



昭和13年卒、3Gクラス会
於 プラザクリプトン 20年 9月29日

親会を開催した。対象は、全員の把握が難しく昭和二十三年卒から昭和四十年卒頃まで徐々に範囲を拡大して行く予定。参加者は県外からも五名参加し十八名であった。総会では、加藤公朗会長の勇退にともない新会長に富樫仁英氏が選任された。



懇親会はあつという間に高校時代にタイムスリップ。駅前校舎の合宿所での出来事、帝石プールや空素沼での練習など思い出話は尽きない。終了時刻がきても終われそうもなかったが、次回必ず再会することを誓ってなんとか閉会の運びとなった。(齊藤紀明・記)

「つどい」の編集方針について (お知らせとお願い)

- 一、「つどい」の記事は写真を中心に、説明文はなるべく短くして下さい。
- 二、説明文や出席者名簿などの取り扱いは、編集委員会(広報委員)にお任せ下さい。
- 三、締切に間に合った原稿はできるだけ全部掲載するように努めますが、「つどい」の寄稿は毎回数が多く、編集の都合上次回に回すこともあり、ます。なお締切は、夏季号は六月上旬、新年号は十一月下旬となっております。